

保険証存続 これだけの理由

利用登録は半分程度

膨大な手間押しつけ

命関わるトラブルも

デジタル庁が公式サイトに公開している「政策データダッシュボード（ベータ版）」には、マイナンバーカードの申請件数・率、健康保険証としての利用登録数・率などがグラフで掲載されています。一方、交付枚数は約9350万枚とそれより約30万枚少ないことも付記。14日には総務省が、死亡・自生返納などによる廃止枚数を引いた「保有枚数」は、交付枚数より先月末時点で約490万枚もない

47万件で、人口比では47・4%と大きめの文字やグラフで表示されています。

しかし、肝心の健康保険証としての利用登録をした人は、累計約6494万件で、人口比で半分程度にしかなりません。

ばらまき不発 マイナンバーカードの累計申請件数は9日現在で約97万枚で、人口比では47・4%だったことを察知しておらず、これまでの説明が力不足で、人口比では77・

政府は、伸び悩むマイナンバーカードの取得数を増やすために、カードの取得者に2万円分のマイナポイントをばらまきました。このうち健康保険証としての利用登録では

やがてデジタル化を狙う自民党デジタル社会推進本部の要望を受ける河野太郎デジタル相（右から4人目）

7月22日 東京都千代田区

年10月に健康保険証の24年秋

廃止を発表しました。

それでもなお、マイナンバーカードに保険証を利用登録している人は、人口の半分程度なのですから、マイナンバーカードに対する不満や保険証廃止に対する抵抗がいかに強いかがうかがえます。

「政策データダッシュボード」では毎日の申請・登録件数もカウントされていますが、ひも付けの誤りが判明してからは減少傾向が強まっています。



7月22日、政府は財界からの猛アシシュもあり、2022

